

ハスモンヨトウ情報第1号（ダイズ）

平成26年8月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 発生状況

フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺数（7月第5半旬まで）は、平年に比べやや少なく推移しています（図1）。

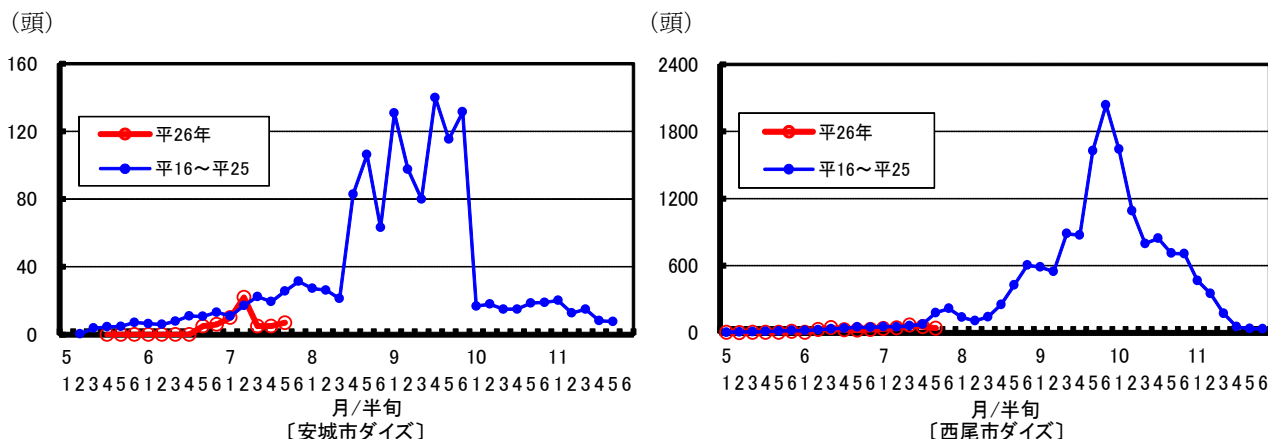


図1 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺数

2 今後の状況

7月31日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、8月は気温が「平年並」と「高い」確率がそれぞれ40%、降水量は「平年並」の確率が40%と、ハスモンヨトウの発生に好適な条件が予想されています。そのため、現状の発生量がやや少ない状況でも、8月中旬以降、発生量が急増する可能性があります。

ほ場での発生動向に注意して、白変葉及び幼虫を確認したら、下表を参考に防除しましょう。

表 ダイズのハスモンヨトウに対する主な防除薬剤

薬剤名	収穫前日数	使用回数
ロムダンフロアブル	14日前まで	3回以内
トレボンEW	14日前まで	2回以内
ラービフロアブル	14日前まで	2回以内
トルネードフロアブル	7日前まで	2回以内
プレオフロアブル	7日前まで	2回以内
プレバソフロアブル5	7日前まで	2回以内
マッチ乳剤	7日前まで	2回以内
マトリックフロアブル	前日まで	3回以内

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。